

優しく強い子に！



ttp://www.minamih.net/
18・6・2(土)
南NEWS no 21

運動会 みんな一生懸命だったね！！

由井三小の運動会を入場行進から大玉送りまで午前中の部を参観しました。



南6年S君逆転で1位！

どの学年も練習の成果をオセオセと見せてくれました。午後は由井三小のブラストコンサートを賞しました。



※午後は参観できなかったので3・4年のダンスの写真が撮れませんでした。ご免なさい。他の学校の子もみんなGAMBAった一日でしたね。

生涯学習



午後はいちようホールで教え子のコンサート。迫力ある演奏に圧倒され、メロディアスな旋律に酔いしれた2時間あまりでした。50歳になる教え子ですが、中学から始めたブラストバンドの演奏に今も真剣に取り組んでいるのです。真に生涯学習です。

教え子はパーカッションの担当です。

サッカーを小学生の時から始めて今もプレーしている、後輩を指導している先輩達も日々学びながら成長しているのです。南のコーチのみなさんもみんなと共に学びながら共に育っているのです。これも生涯学習です。



※前号の続き

半数近い子どもが「自分は役に立たない」と思っている社会では、地球は滅びます。数学や英語ができることだけが、地球に貢献することではありません。地球のために働くにはいろいろな方法があって、それぞれやりがい満ちた未来があることを子ども達に示していかなければ、子ども達に対して不誠実です。

子どもは未来を生きるけれど、私達大人は過去を生きてきたのです。今の大人の大半が二十一世紀の終わりを見届けることができないというのに、自分達の過去の尺度で、こうしたほうが幸せだなどと決めつけるのはやめた方がいいのです。それをすべての大人に分かってもらうことが、私の仕事だと思っています。

そして、未来のある子ども達を教える先生方にも分かっていただきたいのは、子ども達のニーズに目を向けることです。小学校の先生は中学校のことをよく考えます。中学校の先生は高校入試のことを考えます。高校の先生は大学入試、就職の世話というように、目先のことばかり考えていますね。しかし、高校生の40%しか、大学へは行かないのです。でも高校生の100%は社会に出て働き、地球に貢献することになるのです。そこへ思い至らぬようでは、子ども達のニーズに応えることはできません。

子ども達のニーズとは何かというと、先ほど言った「二十一世紀を生きていく力、方法を知ること」なのです。

そのための教育改革が必要なのです。改革することは大変です。教える人がみんな苦労しなければなりませんし、勇気を出して頑張らなければなりません。新しい内容を教えていくためには、いろいろと先生も勉強しなければなりません。それだけ現場が大変なのですから、文部省も教育委員会もちゃんと支援しなければいけないのはもちろんです。みんな安閑としていないで、何かを変えるという努力をしていかなければなりません。

もうちょっと先生の数を増やしてくれれば、改革だってしやすいのにと、お思いなのはよく分かります。私達行政は先生の働く環境を少しでも良くするべく努力します。ですから「なぜ改革しなきゃいけないのか」「学校五日制なんかしないで今まで通りでいいのに」「理科や社会意を減らして、なぜ生活科にするのか」などと従来の思考法で言わないでほしいのです。教育をする側の都合ではなく、学習する子ども達が何を望んでいるかに目を向けてほしいのです。



格好良かったよ！！5年表現
由井三ソーラン2018 輝

審判係に南の子がたくさんいたよ！
しっかりやっていたよ。



1・2年生のダンスは可愛かったね！！
よく覚えたね！！

ゆいさんダンシング

5・6年 綱引き
思わず力が入る綱引き。
2戦ともわずかな差。良い勝負だったよ！



